

# 平成28年度 施策評価シート

基本目標	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる	
政策	120	特色ある、多彩な魅力や個性を発信する
施策	122	特色あるすみだらしい魅力をもった観光資源や観光ルートをつくる
施策の目標	「すみだ」らしさを発揮する観光資源が数多く残されているとともに、新たな観光資源が開発され、にぎわいのあるまちになっています。	

## 1 基本計画における成果指標

指 標 名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
区内を訪れる観光客数(*観光関連施設及びイベント入込客数)	人	6,000,000	3,537,226	9,580,519	10,343,770	9,097,423	9,403,293
墨田区観光協会の土産品等の売上額	千円	120,000	59,825	436,980	372,898	294,186	291,378

## 2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指 標 名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度

## 3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>東京スカイツリーの開業以来、区内を訪れる観光客数は大幅に増加し堅調に推移している。スカイツリータウン来場者数の減少に伴い、すみだまち処の来場者及び売上げも減少傾向にあるが、引き続き高い状態である。今後も来場者数及び売上げを維持していく方策を墨田区観光協会とともに積極的に実施していく。</p>

## 4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性（選択肢に を付ける）
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
<p>東京スカイツリー効果による区内全体の産業活性化を図る上で、観光施策の推進は、本区における最重要のテーマである。</p>
【今後の具体的な方針】
<p>更なる観光客の誘客を推進すべく、「すみだ3M運動」や「すみだ地域ブランド戦略」と連動したものづくり観光、すみだならではの食を活用したまち歩き観光、商店街・商業施設などと連携した観光プログラムの充実を図っていく。</p>

5 部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業 (単位：千円)

(単位：千円)

[illegible]

【評価結果】

拡充：効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。

現状維持：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。

改善・見直し：手段の見直しで効果を拡大する必要がある。

縮小・統合：効果は高くないが、継続する理由がある。

休止、廃止：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。

事務事業名	区内循環バス事業		所管課・係	観光課
施 策	122	特色あるすみだらしい魅力をもった観光資源や観光ルートをつくる	連絡先	03-5608-6500
予算書名称	区内循環バス運行等経費		執行実績報告書ページ	145

## 1 事業の概要

観光客の区内観光回遊性の向上及び区民の生活利便性の促進を図るため、主要な駅、観光エリア、公共施設を通る区内循環バスを運行する。	事業開始年度	平成20年度
	終了予定年度	未定

## 2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
区内外からの観光客及び区民					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
主要な駅、観光エリア、公共施設を通る区内循環バスの運行や区内循環バスのPR活動					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
区民の生活利便性及び観光客の回遊性が向上され、多くの方が利用している					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	1日乗車券販売枚数		枚	目標値	2,400	2,500	3,000
				実績値	2,686	2,514	3,650
成果指標 (目的に対する指標)	年間乗客数		人	目標値	1,642,500	1,642,500	1,642,500
				実績値	1,219,462	1,331,819	1,407,370
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
平成27年度は、乗降客数の目標達成には及ばなかったが、乗降客数で対前年比5.7%増となり、区民の日常生活の交通手段として定着してきている。また、区内回遊を目的にした「宝さがしイベント」も好評で、区内回遊促進の有効手段となった。							

## 3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	観光費	目	観光推進費	
27年度 歳出予算額	92,943	27年度 歳出決算額	91,960	27年度 執行率	98.9%	28年度 歳出 予算額	95,270
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	無			
使用料等の収入の有無	有	使用料等名称	運賃			収入額	乗車1回100円
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度 実績額		28年度 予算額		対象			
開始 年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
区民の利便性向上及び観光客の区内回遊を促進し、地域活性化に繋げるため必要不可欠である。				
(2)事業の有効性	評価結果	上昇	前年度評価	上昇
区内の観光エリア及び居住地から区内鉄道主要駅を細かく結ぶ交通手段である。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
主要な駅、観光エリア、公共施設を回るなど、効率性を考慮している。				
(4)現状と課題	未設置バス停の設置			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	拡充する	判定理由	運行開始年から毎年乗客数は増えており、区民や観光客の足として定着してきているため。
今後の方向性 (見直しの視点)	さらなる利便性の向上と乗降客数の増加を目指すとともに、観光客の区内回遊を促進するための各種事業を積極的に展開する。		
平成27年度区 議会の質問状 況	時期	無	
	要旨	無	

事務事業名	「産業観光プラザ すみだ まち処」管理運営		所管課・係	観光課
施 策	122	特色あるすみだらしい魅力をもった観光資源や観光ルートをつくる	連絡先	03-5608-6500
予算書名称	「産業観光プラザ すみだ まち処」管理運営費		執行実績報告書ページ	145

## 1 事業の概要

東京スカイツリー®を訪れた観光客等に本区の産業・歴史・文化・観光等について紹介し、区内回遊を促進する。	事業開始年度	平成20年度
	終了予定年度	未定

## 2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
東京スカイツリー®を訪れる観光客等					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
管理運営委託事業者と連携した、より効果的なすみだの産業・文化・歴史・観光等の魅力についての情報発信や、区内の産業団体等の活動や意見を取り入れた効果的な情報発信					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
区内の産業・文化・歴史・観光等を体感・体験するとともに、心のこもったもてなしと交流を通じてすみだの魅力を感じることで、東京スカイツリー®だけではなく区内を回遊する					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	各種調整会議 (定例会、運営委員会、企画展募集説明会)		回	目標値	14	15	15
				実績値	15	17	14
成果指標 (目的に対する指標)	来場者数		人	目標値	1,140,000	780,000	750,000
				実績値	850,000	740,982	608,316
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
英語版の施設紹介パンフレットの配布やFacebookの活用を通じて国内外に幅広くPRしている。修学旅行や体験学習の受け入れや免税対応等を行うことによって、国内外からの幅広い世代の利用促進、区内回遊促進を行っている。							

## 3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	観光費	目	観光推進費	
27年度 歳出予算額	172,376	27年度 歳出決算額	171,896	27年度 執行率	99.7%	28年度 歳出 予算額	164,672
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度 実績額		28年度 予算額		対象			
開始 年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
東京スカイツリー®を訪れる観光客等に区内観光の回遊性を高める必要がある。				
(2)事業の有効性	評価結果	上昇	前年度評価	上昇
東京スカイツリー®を訪れる多くの観光客等に観光情報発信ができていているといえる。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
3年間運営を行った実績に基づき、より効率的な運営を図っている。				
(4)現状と課題	開業ブームが落ち着き、今後は「すみだ まち処」を目的として訪れてもらえるよう、魅力ある施設づくりを行っていく必要がある。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	拡充する	判定理由	より効果的、効率的な事業運用を目指し、運営事業者及び関係部署、区内産業団体等との連携、調整を図る。
今後の方向性 (見直しの視点)	来場者数が一段落した今、来場者数を維持・向上すべくための施策の展開が必要である。また、来場者に対し区内回遊をさらに促進する仕掛けづくりが必要である。		
平成27年度区 議会の質問状 況	時期	無	
	要旨	無	

事務事業名	3M運動推進事業			所管課・係	産業経済課産業振興担当
施策	122	特色あるすみだらしい魅力をもった観光資源や観光ルートをつくる			連絡先 03-5608-6186
予算書名称	3M運動推進経費、「小さな博物館」産業と観光の融合促進経費			執行実績報告書ページ	137

## 1 事業の概要

昭和60年度 小さな博物館募集開始(61年度認定開始)/61年度 小さな博物館整備補助要綱 及び 小さな博物館運営補助要綱 制定/62年度 モデルショップ(工房ショップ前身)募集開始(平成元年認定開始)/63年度 すみだ工房ショップ支援要綱 制定/平成元年度 マイスター認定開始/3年度 すみだマイスターものづくり事業補助要綱 制定/10年度 工房ショップ認定開始/12年度 工房ショップ事業にモデルショップ事業を統合	事業開始年度	昭和60年度
	終了予定年度	

## 2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
区内の優れた産業及び産品 「小さな博物館」「工房ショップ」「マイスター」					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
「小さな博物館」「工房ショップ」「マイスター」の創出を通じたイメージアップ運動 それぞれの魅力向上に向けた支援					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
「正当な評価」「より高い評価」が得られている 区民及び墨田区を訪れる人々にとって魅力的な区内観光資源となっている					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	小さな博物館・工房ショップ・マイスター新規認定数		館・店・人	目標値	4	3	3
				実績値	5	3	0
成果指標 (目的に対する指標)	小さな博物館への来館者数		人	目標値	35,000	35,000	35,000
				実績値	27,988	28,957	36,021
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
平成27年度から小さな博物館の土・日開館に伴う上乗せ補助を開始し、土・日開館を行った博物館が増えたほか、誘客のために積極的に努力している博物館は来館者数を伸ばしており、全体としても博物館の来館者数増につながっている。							

## 3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	商工費	目	商工振興費	
27年度 歳出予算額	14,818	27年度 歳出決算額	11,714	27年度 執行率	79.1%	28年度 歳出 予算額	14,791
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称	-			収入額	-
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		小さな博物館運営補助金					
27年度 実績額	7,442	28年度 予算額	8,568	対象	小さな博物館設置者		
開始 年度	昭和61年度	根拠法令	小さな博物館運営補助要綱				
算定基準	博物館の管理・運営に必要な経費を補助(別途、土日開館の上乗せあり)			補助率	1館につき月額2万円の範囲内(別途、土日開館の上乗せあり)		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
観光資源としての「小さな博物館」や「工房ショップ」の必要性が高まっているため。				
(2)事業の有効性	評価結果	上昇	前年度評価	どちらかといえば有効
指標だけでは表れない部分で効果的に働いているため。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
事業に係る経費は横ばいであるが、予算のかからない手法でのPRを進めているため。				
(4)現状と課題	『個(小さな博物館、工房ショップ)』の魅力を更に高め、区の産業振興拠点・観光資源としてより効果的な活用を図る必要がある。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	国際観光都市すみだの実現にあたっては、ものづくりと観光の融合が大きな課題となっている。その課題を克服していくため、3M運動をより効果的に継続していくことが極めて重要である。
今後の方向性 (見直しの視点)	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催も見据え、より魅力的な観光資源、産業振興の拠点となるための取組を推進する(新たな拠点の発掘、既存施設の魅力アップ、効果的なPR事業の実施等)		

平成27年度区 議会の質問状 況	時期	27年8月 観光対策等調査特別委員会 第1回定例会 予算特別委員会
	要旨	27年8月 ・体験プログラム ・広報のターゲット ・すみだマイスターへの支援策 ・美術館から3M事業者への誘導 ・事業者の所在地に係る都市整備的な観点 ・事業者の本業と観光施策の両立 ・外国人対応 第1回定例会 外国人対応



事務事業名	ものづくりと観光の融合支援事業(アウトオブキッズニアinすみだ)		所管課・係	産業経済課産業振興担当
施 策	122	特色あるすみだらしい魅力をもった観光資源や観光ルートをつくる	連絡先	03-5608-6186
予算書名称	ものづくりと観光の融合支援事業費		執行実績報告書ページ	137

## 1 事業の概要

平成24年4月 事業開始。参加事業者で構成される「アウトオブキッズニアinすみだ運営協議会」を設立。 平成24年8月 体験者の受入を開始。	事業開始年度	平成24年度
	終了予定年度	

## 2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
区民及び来街者(子ども)					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
区内事業者による職業(職人)体験プログラム					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
すみだのものづくりの魅力・楽しさを感じているとともに、これをきっかけに区内を回遊している					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	プログラム参加者数(個人プログラム)		人	目標値	1,000	1,500	1,500
				実績値	1,181	1,126	838
成果指標 (目的に対する指標)	参加者アンケート内の総合評価において「大変満足」と回答した人の割合		%	目標値	100	100	100
				実績値	78	64	65
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
<p>プログラム数が平成27年度から5プログラムに減ったため、参加者数が減少している。しかし、平成27年度は、平成26年度から開始した団体教育旅行の実績(4校、356名)が出始め、通常プログラムと合わせた参加者数は1,194名となっている。</p> <p>参加者アンケートで「大変満足」と回答した人の割合は前年度とほぼ同割合となっている。「満足」と回答した人と合わせると97%となり、満足度としては高い水準を保っている。</p>							

## 3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	商工費	目	商工振興費	
27年度 歳出予算額	4,375	27年度 歳出決算額	2,912	27年度 執行率	66.6%	28年度 歳出 予算額	3,787
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称	-			収入額	-
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		アウトオブキッズニアinすみだ運営協議会への補助金					
27年度 実績額	2,911	28年度 予算額	3,787	対象	アウトオブキッズニアinすみだに参加している事業者		
開始 年度	平成24年度	根拠法令	区長決定による				
算定基準	プログラム開発に係る費用及びプロモーション等に係る費用に対し補助			補助率	プログラム開発に係る費用の2/3 プロモーション等に係る費用の3/4		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
ものづくりと観光の融合においては、観光資源のひとつとなる体験プログラムの充実及び受入れ体制の整備は重要な課題である。また、区内の子どもにもものづくりについて知ってもらうためにも良い機会となっているため。				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
個人以外に「団体教育旅行」の受入れを開始し、まずまずの反応があり、今後に期待できるため。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	低い
“キッズニア”というブランド力が本事業の魅力を維持するために重要である一方、観光協会等が別途「ものづくり体験」を実施しており、両者の住み分けを図る必要がある。また、効率性を高めるため、参加事業者数を増やしていく必要がある。				
(4)現状と課題	参加事業者数(プログラム数)の増や成果物の変更により、リピーターを呼び込めるようにしていかなければならない。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	国際観光都市すみだの実現にあたっては、ものづくりと観光の融合が大きな課題となっている。その課題を克服していくため、本事業をより効果的に継続していくことは極めて重要である。
今後の方向性 (見直しの視点)	参加事業者数を増やすために、3 M運動やスミファの参加事業者を積極的に勧誘するとともに、本事業の魅力や効果のPRを図る。また、効率的な運営を維持しつつ、JTBによる販売力を活かし、団体教育旅行を中心に参加者数の増に向けて取り組む。		

平成27年度区 議会の質問状 況	時期	第4回定例会 産業都市委員会
	要旨	・スミファとの連動

事務事業名	「イチから始める」運動の推進			所管課・係	産業経済課産業振興担当
施策	122	特色あるすみだらしい魅力をもった観光資源や観光ルートをつくる			連絡先 03-5608-6186
予算書名称	「イチから始める」運動推進経費			執行実績報告書ページ	137

## 1 事業の概要

平成3年度開始	推進検討委員会の開催(10回)	事業開始年度	平成3年度
平成4年度～	「ガラス」同業市の開催(H4.9月～/毎月15日開催)		
平成8年度～	開催日の変更(4・6・8・10月の第1土・日に変更)	終了予定年度	
平成11年度～	開催日の変更(4・10月の第1土・日に変更)		
平成17年度～	開催日の変更(4月開催は第3土・日に変更)		
平成19年度	補助限度額に関する規定の改正(90万円 150万円)		

## 2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
「イチ」実施委員会補助金交付要綱に基づき、区内産物を販売するための市を開催する商工団体					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
同業市、定期市を開催する団体に経費の一部助成					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
多くの人が来訪する「交流の場」の形成と地域の活性化を促し、もって墨田区の産業及び商業の振興に寄与する					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	市 開催回数		回	目標値	2	2	2
				実績値	2	2	2
成果指標 (目的に対する指標)	市 来場者数		人	目標値	15,000	15,000	15,000
				実績値	12,000	14,000	16,500
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
事業開始当初に比して1回あたりの来場者数・売上げの増加が見られ、特に平成24年度のスカイツリー開業後の増加が目立ち、ガラス市の認知度は高まってきている。 地場産業をPRする場であるとともに、事業の目標であるすみだらしい魅力的な観光資源として効果を上げている。							

## 3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	商工費	目	商工振興費	
27年度 歳出予算額	1,500	27年度 歳出決算額	1,500	27年度 執行率	100.0%	28年度 歳出 予算額	1,500
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称	-			収入額	-
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		「イチ」実施委員会補助金					
27年度 実績額	1,500	28年度 予算額	1,500	対象	「イチ」実施委員会補助金交付要綱に基づき、区内産物を販売するための市を開催する商工団体（現在はガラス同業市実施委員会が該当）		
開始 年度	平成4年度	根拠法令	「イチ」実施委員会補助金交付要綱				
算定基準	「イチ」実施委員会補助金交付要綱に基づき、区内産物を販売するための市を開催する商工団体			補助率	当該年度の補助金対象経費の合計額又は150万のいずれか低い額		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	どちらかといえば必要
本事業は、地場産業の発展に大きく寄与している。また、実績値の向上から、本事業への認知度、注目度が高まっている。				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
ガラス市の来場者数等の実績は増加傾向にある。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
経費は横ばいだが、来場者数は年々増加傾向にあり、費用対効果は上がってきている。				
(4)現状と課題	継続的かつ自主的な取組である「イチ」の実施にあたっては、相応の実施体制が必要である。現在は担い手がガラス同業市のみとなっており、広がりが限定的となっている。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	産業及び観光振興の観点から有効であるため
今後の方向性 (見直しの視点)	現在実施しているすみだガラス市については、全国でも珍しいガラス器だけの市として、近隣地域はもとより地方からの来場者も多く、年々、来場者数・知名度ともに着実に増してきている。区の産業をPRする場に留まらず、区の観光資源としても重要であることから、今後も継続的に必要な支援を行っていく。 また、その他の分野における「イチ」の開催については、担い手の実施体制等を踏まえ実現化の可能性を探っていく。		
平成27年度区議会の質問状況	時期	無	
	要旨	無	